



徳島大学病院は徳島県唯一の特定機能病院の使命として、高度医療を展開すると共に、研修医や若手医師、学生の教育研修にも力を入れています。卒後臨床研修センターでは従来から、研修医の希望に沿ったきめ細やかなオーダーメイドプログラムを提供してきましたが、更に隣の県立中央病院との連携強化も図る予定です。また新専門医制度導入を控え、基本的診療科の研修プログラムの充実にも努めていますが、特に病院病理部や総合診療部は教授を含めたスタッフの充実を図る予定です。また本院の特徴でもある、スキルスラボやクリニカルアナトミーラボでの手技研修に加え、生物資源産業学部の一部をお借りして、豚を用いた手術トレーニングを行うことも計画しています。医療分野では、12月から新たに四国初の包括的なてんかんセンターがオープンしました。県内外の難治性てんかん患者さんの診療のお役に立てると思っています。また国際医療支援部も構築予定です。皆様に安全で安心できる高度医療を提供するため更に努力していききたいと思います。



病院長 永廣 信治

## 平成29年度徳島大学病院 プログラム説明会 (初期研修・専門医研修)

2016年6月25日(土)大塚記念講堂にてプログラム説明会を行いました。第一部では、当院の2年次研修医である有澤麻美先生(高知赤十字病院にて研修)・佐藤裕一先生(済生会熊本病院にて研修)・千田大樹先生(日本医科大学付属病院・済生会熊本病院にて研修)・中西明奈先生(徳島県鳴門病院・徳島県立中央病院にて研修)が、それぞれの臨床研修に関し、数多くの写真を用いて楽しく説明してくれました。また、第二部では、徳島大学病院・協力病院による合同説明会をブース形式で行いました。計94名の学生が参加してくれましたが、徳島大学の学生だけでなく、他大学からも12名の学生が参加しており、非常に活気のある会となりました。また、マッチングを間近に控えた5・6年生だけでなく、今年は1年生や2年生も参加しており、初期研修に対する意識の高さが伺われました。更に後期研修を希望する他病院からの研修医も参加しており、様々なニーズに応えられる有意義な会となりました。来場された皆様全員と徳島大学病院で共に働けることを願いつつ、学生や研修医によりよい研修プログラムを提供できるよう尚一層気を引き締めて努力して参ります。



研修プログラム説明会(大塚講堂)  
右上/[第一部]研修医による体験談プレゼンテーション  
左上・下/[第二部]合同説明会(ブース開設)  
右下/懇親会(蔵本会館)



## 研修医教育講座& 当直スキルアップセミナー

研修医への教育の一環として、各診療科の先生方にご協力頂き、手技的なことに関しては、年10回の研修医教育講座で、知識的なことに関しては、年10回の当直スキルアップセミナーで教育を行っております。何れの回も研修医だけでなく、学生・院内他科医師・他院からの先生方を含め、20~40名の参加者があり、熱気のある会となっております。当直スキルアップセミナーに関しましては、学生や医師だけでなく、他のコメディカルの方の参加も大歓迎ですので、是非ご参加ください。御協力頂いております各診療科の先生方にこの場をお借りして御礼申し上げますと共に、来年度以降に関しましても御協力の程宜しくお願い申し上げます。

(内容に関しましては、卒後臨床研修センターのホームページをご参照下さい)



## 学生・研修医のためのキャリアデザインセミナー

キャリア形成支援センターとの共催で、厚仁会の御支援の下、2016年9月6日(火)に日垂メディカルホールにて、学生・研修医のためのキャリアデザインセミナーを開催致しました。医歯薬学研究部 疾患病理学分野 常山幸一先生、さくら診療所 井下俊先生、産科婦人科 笠井可菜先生に、ご自身の医師としてのキャリア形成に関し御講演を頂きました。研修医・学生合わせて60名が参加しており、講師の先生方の話を熱心に聴いておりました。講演終了後は引き続きレストランSoraにて懇親会を行いました。会場では質問できなかった学生や研修医も懇親会の場では講師の先生方を取り囲んで熱心に質問をしており、医師としてのキャリアを形成する上での参考になればと思います。御講演をお引き受け頂きました3名の先生方にはこの場をお借りして御礼申し上げます。

- 医歯薬学研究部 疾患病理学分野 常山幸一先生  
「目指せ、病理医！」
- さくら診療所 井下俊先生  
「医療の本質を外さない医者でありたい」
- 産科婦人科 笠井可菜先生  
「卒後8年目、これまでと今とこれからと」



## レジナビフェア

2016年7月3日(日)に大阪にて、7月17日(日)に東京にてレジナビフェアが開催されました。特に大阪レジナビフェアでは、徳島県臨床研修連絡協議会として初めて大型ブースで参加致しましたが、徳島県出身者を中心に多くの学生に来場頂き本当に有難う御座いました。中には出身地や出身大学が徳島県とは全く関係がないにも関わらず、後に病院見学やマッチングを申し込んでくれる学生もおり、直に研修プログラムの説明をすることの重要性を痛感しました。



## 徳島赤十字病院との研修交流

今年度より、徳島赤十字病院とのたすきがけ研修がスタートしました。2016年6月から、徳島赤十字病院の研修医が徳島大学病院にて研修を開始しているだけでなく、10月からは、徳島大学病院の研修医が徳島赤十字病院に研修を行っております。大学病院と徳島赤十字病院のそれぞれ良いところを学んで頂き、実りある研修になれば有り難いです。これからより多くの研修医が徳島県内で満足いく研修ができるように、研修プログラムの見直しを行って行きたいと思っております。学生さんや研修医の方で、こんな研修がしてみたいというご意見がありましたら、卒後臨床研修センターまでご連絡下さい。



徳島赤十字病院にて研修中の高島先生(前列右)



胸腔穿刺実習に参加した前田先生(中央)

# 研修医紹介

現在、徳島大学病院で  
研修中の研修医

## 1年次研修医

- 荒瀬 美晴 田中 こころ
- 上田 浩之 西山 美月
- 遠藤 ふうり 宮武 亜希子
- 岡本 恵暢 山本 綾香
- 笠井 昭成 山本 清成
- 菊池 高史 横田 典子
- 杉峯 優人 Robert Zheng

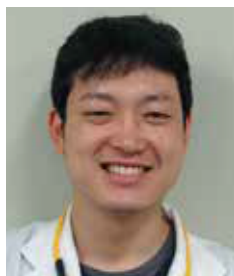
## 2年次研修医

- 新垣 亮輔 下地 寛
- 蔭山 彩人 中川 舞
- 樫原 孝典 廣田 圭祐

前回のニュースレター発行後に戻ってきた研修医です



**有澤 麻美 (2年次)**  
常に初心を忘れず、何事にも積極的に行動したいと思います。ご指導の程、宜しくお願い致します。



**梶田 敬介 (2年次)**  
外病院で半年間研修させて頂き戻ってきました。大学病院の強みを生かして研修できるよう頑張ります。



**小山 広士 (2年次)**  
残り少ない研修ですが、初心を忘れず、一生懸命頑張ります。



**四宮 由貴 (2年次)**  
8か月ぶりに徳島大学病院に戻ってまいりました。気持ち新たに研修に励みます。どうぞよろしくお願い致します。



**曾我部 洋平 (2年次)**  
気を引き締め直して残りの研修に取り組んでいきたいと思っています。よろしくお願い致します。



**高橋 拓 (2年次)**  
研修期間も残り少なくなりましたが、今後の研修も有意義なものにできるよう日々精進してまいります。



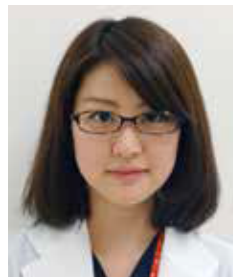
**谷 彰浩 (2年次)**  
まだまだ未熟ですが、これからもがんばりますのでよろしくお願い致します。



**中西 明奈 (2年次)**  
明るく前向きにプラス思考で光の差す方へ、ポジティブに進んでいきます。



**原 倫世 (2年次)**  
これまで教えて頂いたことを活かしながら残りの研修期間も多くのことを吸収できるよう努力したいと思えます。



**細井 美希 (2年次)**  
研修医としての期間も残り少なくなりました。様々なことを身につけられるよう努力致しますので、ご指導の程宜しくお願い致します。



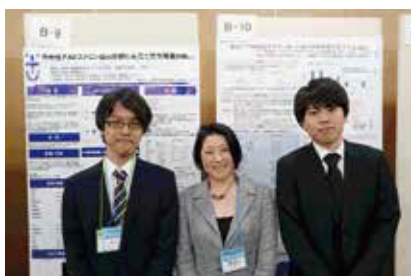
**行重 佐和香 (2年次)**  
10か月ぶりに大学に戻ってきました。残りの研修期間も、実りあるものになるよう頑張ります。



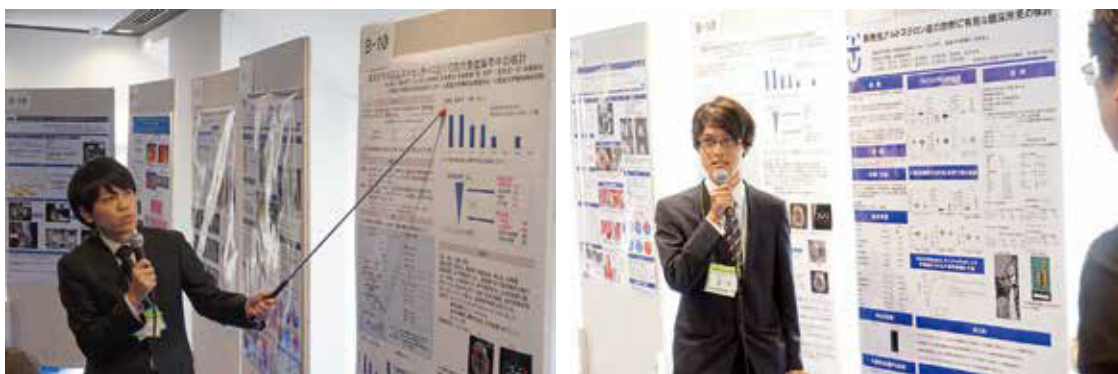
**田村 暢章 (1年次)**  
バスケットで培った体力を活かして、頑張ります。宜しくお願い致します。

## 徳島医学会学術集会

2016年7月24日(日)に徳島県医師会館にて第253回 徳島医学会学術集会が開催されました。各診療科の指導医の先生方に熱心に御指導頂き、2年次研修医4名、1年次研修医4名の計8名の研修医が発表を行いました。大変喜ばしいことに2年次研修医 蔭山彩人先生と村上貴寛先生の2名が若手奨励賞を受賞致しました。御指導頂きました各診療科の先生方には厚く御礼申し上げます。



若手奨励賞



2年次研修医 蔭山彩人先生(脳卒中センター)  
「徳島大学病院脳卒中センターにおける院内発症脳卒中の検討」

2年次研修医 村上貴寛先生(循環器内科)  
「原発性アルドステロン症の診断に有用な臨床所見の検討」

## 徳島大学病院 研修医奮闘記

AWAすだちプログラム  
(協力病院:阿南共栄病院、川崎医科大学附属病院<岡山県>)

### 2年次研修医 高橋 拓

月日の経つのは早いもので、研修医生活も残り少なくなってきました。

国家試験を終え、平成27年4月に徳島大学病院に不安と期待を携えて入職したのがまるで昨日の日のようです。研修が始まると、新しい経験の連続で、まさに「光陰矢の如し」、時間は矢の様に過ぎて行きました。医師といっても名ばかりで、右も左もわからない中、どの科の先生方も優しく指導し、支えてくださいました。

平成28年3月からは、川崎医科大学附属病院で救急の研修をさせていただきました。見知らぬ土地の三次救急病院で、次から次へと急患が運ばれてくるという状況に、不安と緊張の毎日でありましたが、非常に刺激的で実りある3ヶ月でした。

その後再び大学病院に戻りましたが、将来の進路を内科に決め、さらに多種多様な疾患を経験したく、阿南共栄病院で内科の研修をさせていただきました。内科の研修といっても、手術や勉強になる症例があれば科の枠に関係なく、お声がかかり、どの先生方も優しく、時に厳しく、手取り足取り手厚く指導してくださいました。経験できる



中央が筆者

手技や症例も多く、大学病院とは違った雰囲気の中で、忙しいながらも非常に充実した毎日を送らせていただきました。

これまでを振り返ると、反省や改善点は山のようにあります。しかし、多くの経験をし、どうにかやり抜いてきたからこそ、後悔はありません。そう感じられるのも、未熟な私を温かく見守り、支えて下さった卒後臨床研修センターのスタッフの先生方、各科・協力病院の先生方、パラメディカルの方、同期の研修医のおかげです。

研修期間も残りわずかとなり、後期研修が目前に迫っていますが、これまで以上に有意義な研修ができるよう、また、少しでも成長できるよう、たゆまぬ努力と素直な気持ちを忘れずに日々精進を続けたいと思います。

## TOPICS

### 卒後臨床研修センタースタッフの 田中久美子先生が復帰しました

2016年1月より、産休・育休にて休養されておりました田中久美子先生が、2016年9月12日より卒後臨床研修センターに復帰しました。卒後臨床研修センターでは、スタッフだけでなく、研修医が産休・育休をとる場合も度々ありますが、卒後臨床研修センター全体でしっかりサポートを行っております。大変ではありますが、過度に心配することなく、頑張つてこの大切な時期を乗り越えて頂ければと考えております。



左/自宅で息子さんと  
右/研修医指導中

## 医員募集

### 平成29年度の医員募集情報

徳島大学病院では、下記の要領で、平成29年度の医員(3年目以降の専門医研修者を含む)を募集します。

#### 平成29年度の 医員募集の概要

条件	医師免許取得後2年以上臨床研修を行った者または、平成29年3月までに卒後臨床研修を修了(予定)している者。
募集人数	170名(ただし、専門医研修希望者はすべて受け入れます)。
処遇	国立大学法人徳島大学有期雇用職員就業規則による。
募集のための書類	希望する診療科または、総務部人事課蔵本人事係にお問い合わせください。 総務部人事課蔵本人事係 Tel.088-633-7018 Fax.088-633-7474
募集の締め切り	平成29年1月13日(金)
問い合わせ先	採用希望される場合は、随時、各診療科または、病院キャリア形成支援センター(総務課専門研修係担当)までお問い合わせください。 <b>病院キャリア形成支援センター(総務課専門研修係担当)</b> Tel.088-633-9976 Fax.088-633-9543 E-mail: bcareer@tokushima-u.ac.jp http://www.careercenter-dr.jp/index.html

#### ホームページ

卒後臨床研修センターでは、適宜ホームページをリニューアルしております。新しい研修プログラムの情報や研修医のブログなど様々な情報を配信しております。当院での研修に御興味のある方は、卒後臨床研修センターホームページ  
(<http://www.tokudai-sotsugo.jp>)  
にアクセス頂きますと幸いです。

■ニュースレターに関する御意見・  
ご要望など、お気軽にお寄せください。  
[bsotsugo@tokushima-u.ac.jp](mailto:bsotsugo@tokushima-u.ac.jp)



徳島大学病院卒後臨床研修センター  
Tel: 088-633-9359  
Fax: 088-633-9358  
E-mail: [bsotsugo@tokushima-u.ac.jp](mailto:bsotsugo@tokushima-u.ac.jp)  
URL: <http://www.tokudai-sotsugo.jp>

# 徳島大学病院 診療科案内

お問い合わせは  
【初期研修】卒業臨床研修センター  
E-mail: bsotsugo@tokushima-u.ac.jp  
【専門医研修】キャリア形成支援センター  
E-mail: bcareer@tokushima-u.ac.jp

## 消化器内科

(科長 高山 哲治)

当科では、消化器疾患の診療を中心に、内科を幅広く診療できる医師の育成を目指しています。消化器診療においては、早期胃癌・食道癌・大腸癌に対する粘膜下剥離術(ESD)を多数行い、肝臓に対してはラジオ波焼灼術や高度なインターベンション治療を多数行っています。また、種々の進行消化器癌に対して最新の分子標的治療薬を含めた質の高い化学療法を行うとともに優れた全身管理を行っています。当科における研修システムでは指導医が充実しており、指導医と研修医が一体となって最善の医療を提供しております。



連絡先 宮本 弘志 miyamoto.hiroshi@tokushima-u.ac.jp  
tel.088-633-7124 fax.088-633-9235  
http://www.tokudai-shoukaki.jp/

## 血液内科

(科長 安倍 正博)

血液内科では、造血障害、造血器腫瘍や免疫不全を中心とした疾患に対し、造血幹細胞移植術などの新しい診断技術や治療法を取り入れ幅広く診療を展開しております。このような治療の遂行においては、多職種医療従事者とのチームによる全人的かつ専門的診療が重要です。当科では一般内科を基盤としたきめ細かな患者の全身管理ができるバランスのとれた医師の育成を目指しています。



連絡先 安倍 正博 masabe@tokushima-u.ac.jp  
tel.088-633-7120 fax.088-633-7121  
http://square.umin.ac.jp/TUBioReg/index.html

## 食道・乳腺甲状腺外科

(科長 丹黒 章)

確かな技術を備えた外科医を育てることをモットーとしています。「確かな技術」とは、手術のテクニックのみならず、正確な診断、適切な手術適応の決定や、周術期の全身管理、初期治療から緩和治療まで、あらゆる治療に精通することを意味しています。全ては患者さんのためであり、それらの技術習得に必要な環境が私たちの教室には揃っています。「目の前の患者さんを自分の技術で治したい」。そんな熱く、優しいハートを持った若いドクターよ、集まれ!



連絡先 吉田 卓弘 tyoshida1@tokushima-u.ac.jp  
tel.088-633-7143 fax.088-633-7144  
http://www.tksbizan.com/

## 消化器・移植外科

(科長 島田 光生)

「拡大切除・機能喪失から低侵襲・再生外科へ」をスローガンに肝胆膵外科領域では高難度手術、集学的治療、生体肝移植を行っており、肝胆膵外科高度技能修練施設Aに徳島で唯一認定(高度技能専門医を4名擁しており、日本でもトップクラス)されています。消化管外科では胃癌手術の6割、大腸癌手術の8割で鏡視下手術を行っており、内視鏡外科技術認定医が執刀・指導を行っています。また中国四国では初めて肥満に対して減量手術を腹腔鏡で行っております。鏡視下アミラルボを含む研修プログラムも用意しており、積極的に若手医師が執刀できる環境が整っております。



連絡先 吉川幸造 yoshikawa.kozo@tokushima-u.ac.jp  
tel.088-633-7139 fax.088-631-9698  
http://www.tokugeka.com/

## 循環器内科

(科長 佐田 政隆)

循環器内科は、虚血性心疾患や不整脈に対するカテーテル治療や画像検査、心臓リハビリなどの専門・高度医療にわたる幅広い領域をカバーしています。循環器救急24時間体制を構築しており、徳島県内の各種医療機関との病診連携も積極的に進めています。初期ならびに専門医研修については、四国はもとより東京、大阪、神戸、沖縄、静岡などの県外医療機関と連携して、各自の将来設計に柔軟に対応できるプログラムを提供しています。



連絡先 佐田 政隆 masataka.sata@tokushima-u.ac.jp  
伊勢 孝之 isetaka@tokushima-u.ac.jp  
(卒業後研修主任) tel.088-633-7852 fax.088-633-7894  
http://square.umin.ac.jp/TOKUSHIM/

## 腎臓内科

(科長 土井 俊夫)

腎臓内科では、県下一円から難治性の腎疾患患者を受け入れています。腎臓内科の診療活動は、ネフローゼ症候群・腎炎などの腎疾患の診断治療と慢性腎不全の透析導入、透析室管理の3つの柱からなっています。糖尿病、高血圧、膠原病など全身性疾患からの腎障害も多く、広く内科全般に渡る症例を経験するとともに、術前術後を含めた透析管理を研修していただきます。当科での取得可能専門医:総合内科専門医・腎臓専門医・透析専門医。



連絡先 土井 俊夫 doitosho@tokushima-u.ac.jp  
tel.088-633-7184 fax.088-633-9245  
http://www.tokudai-kidney.jp/

## 神経内科

(科長 梶 龍児)

かつては「わからない・おられない」と揶揄された時代もあったらしいのですが、時代はダイナミックに変わっております。頭の先から指の先までの神経の症状、神経難病、脳卒中(SCU)から日常遭遇する一般的な症状(頭痛・物忘れ・手足のしびれ感)に至るまで「治る神経内科」を実践しております。専門医の高合格率にも定評があります。国内・海外への留学実績も豊富です。



連絡先 和泉 唯信 yizumi@tokushima-u.ac.jp  
瓦井 俊孝 tkawarai@tokushima-u.ac.jp  
tel.088-633-7207 fax.088-633-7208  
http://www.neuro-tokushima.com

## 呼吸器外科

(科長 滝沢 宏光)

肺癌、縦隔腫瘍、胸壁腫瘍など腫瘍性疾患を中心として、漏斗胸、膿胸、気胸など呼吸器外科疾患全般に関して診療を行っています。肺癌手術はほぼ全例完全胸腔鏡下手術で行い、質の高い手術を提供できるようスタッフは日々研鑽を積んでいます。気管支鏡検査、気管支鏡インターベンションにも力を入れており、早期肺門部肺癌に対する光線力学療法や気道狭窄に対するステント、レーザー治療も行っています。呼吸器外科を志す人にとって充実した環境を提供できると思います。興味のある方は是非ご連絡ください。



連絡先 鳥羽 博明 surgery2@tokushima-u.ac.jp  
tel.088-633-7143 fax.088-633-7144  
http://www.tksbizan.com/

## 小児外科・小児内視鏡外科

(科長 石橋 広樹)

①小児外科の広範な疾患に対する治療:四国の小児外科の中心的施設として、胸部、腹部をはじめ小児悪性腫瘍および、泌尿器科領域まで広範な疾患をカバーしています。  
②小児外科領域での鏡視下手術:小児単径ヘルニアに対するLPEC法その他、ヒルシュスブルグ病、鎖肛、GERDなどに対しても積極的に鏡視下手術を施行しており、中国・四国地方では、唯一の日本内視鏡外科学会技術認定(小児外科)を取得しています。



連絡先 石橋 広樹 hiroki@tokushima-u.ac.jp  
tel.088-633-9276 fax.088-631-9698  
http://www.tokugeka.com/

## 呼吸器・膠原病内科

(科長 西岡 安彦)

肺癌、肺炎、気管支喘息、リウマチ疾患を中心に、指導医・専門医のもとチーム医療を推進しています。臨床腫瘍学、感染症学、アレルギー学、免疫学等の幅広い分野の臨床経験が積めるのも当科の特徴です。生物学的製剤によるリウマチ診療、間質性肺炎・睡眠時無呼吸症候群の診療でも県内で中心的な役割を果たしています。国内外への留学による研修等を通じ常に総合力アップを意識し、全国レベル国際レベルの医療人育成を目指しています。



連絡先 後東 久嗣 hgoto@tokushima-u.ac.jp  
tel.088-633-7127 fax.088-633-2134  
http://www.sannai.umin.jp/

## 内分泌・代謝内科

(科長 遠藤 逸朗)

内分泌腺が産生するホルモンは多彩な臓器の機能調節に関わり、その調節異常による代謝異常症には糖尿病、脂質異常症、痛風、骨粗鬆症など頻度の高い生活習慣病が多く含まれます。したがって、内分泌・代謝疾患では、全身のホルモン標的臓器の統合的な診断・治療が必要です。当科では、内分泌・代謝疾患患者の診療を通じて、臨床医として必要とされる幅広い病態の理解と的確な診断能力、そして適切な治療方針の立案能力を身につけた医師を育成しています。



連絡先 遠藤 逸朗 endoits@tokushima-u.ac.jp  
tel.088-633-7120 fax.088-633-7121  
http://square.umin.ac.jp/TUBioReg/index.html  
http://www.tokushima-hosp.jp/info/circulatory.html?rank\_code=unit&belong\_code=4

## 心臓血管外科

(科長 北川 哲也)

心臓血管外科医は、「自分の知と腕」をもって、病む患者さんの生きようとする力を支えてあげることのできる、やりがいのある仕事です。暖かい心と勇気を持ち、夢と情熱のある方は、当科で専門医研修をしませんか。君たちの想いに応えます。現代の社会環境でこそチャンスです。  
"Chance favors only the prepared mind!!" 次代を担うのはあなたです。



連絡先 北川 哲也 kitaichi@tokushima-u.ac.jp  
tel.088-633-7581 fax.088-633-7408  
http://www.toku-cvs.umin.jp/

## 泌尿器科

(科長 金山 博臣)

関連病院のほとんどが日本泌尿器科学会認定の拠点教育施設で、症例も多く充実した研修が受けられます。透析認定施設も多く、透析専門医の習得も可能です。早い段階から開腹手術や腹腔鏡手術の執刀を行い、泌尿器腹腔鏡技術認定医・腎移植認定医等の習得が可能です。また、大学病院および関連病院でロボット支援手術を積極的に行っており、大学を含めて7施設で導入しています。希望により大学院進学、国内・海外留学が可能です。泌尿器科に興味を持つ熱意ある先生の入局を待っています。



連絡先 金山 博臣 kanayama.hiroomi@tokushima-u.ac.jp  
高橋 正幸 takahashi.masayuki@tokushima-u.ac.jp  
tel.088-633-7159 fax.088-633-7160  
https://tokushima-u-urology.jp/

## 眼科

(科長 三田村 佳典)

人間は外界からの情報の80%を視覚から得ており、高齢化社会を迎え眼科の重要性は増すばかりです。当教室では網膜硝子体、緑内障、角膜炎、斜視弱視、ぶどう膜炎、眼瞼眼窩といった広範囲の専門分野を研修することができます。また、独自の小切開硝子体手術器具を考案し質の高い網膜硝子体手術を行っています。ぜひ、我々とともに活気あふれる教室を作ってください。



連絡先 江川 麻理子 egawa.m@tokushima-u.ac.jp  
tel.088-633-7163 fax.088-631-4848  
http://www.tokushima-ganka.jp

## 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

(科長 武田 恵昭)

現代の耳鼻咽喉科・頭頸部外科は、頭頸部の感覚運動医学、機能再建外科、頭頸部腫瘍外科を担当する科です。徳島大学耳鼻咽喉科では、耳鼻咽喉科の全ての担当範囲において国際トップレベルの医療と研究を行い、明るく楽しく積極的に、個性を尊重して個性を伸ばし、世界一の耳鼻咽喉科をめざしています。徳大耳鼻科で頭頸部のスペシャリストをめざしませんか？



連絡先 北村 嘉章 ykitamura@tokushima-u.ac.jp  
(総務医長) tel.088-633-7169 fax.088-633-7170  
http://www.toku-oto.umin.jp

## 形成外科・美容外科

(科長 橋本 一郎)

徳島大学病院形成外科は、新しい専門医制度において1年以上の研修が義務付けられた基幹病院として申請する予定で、四国各県にある連携病院と協力して幅広い研修を受けることが可能です。1年目には主に大学病院で形成外科の基礎知識と基本技術を習得し、2年目以降に連携病院を含めた複数の施設で研修を行います。また、大学院生になれば基礎系講座と協力して研究活動を行うことや、さらに海外および国内留学も奨励しています。



連絡先 石田 創士 keisei@tokushima-u.ac.jp  
tel.088-633-7296 fax.088-633-7297  
http://www.tokushima-hosp.jp/info/circulatory.html?rank\_code=unit&belong\_code=18

## 精神科神経科／心身症科

(科長 大森 哲郎)

今、精神科医が求められています。精神科の敷居が低くなり受診者が増え続ける現状に加え、教育や行政からのニーズも激増しております。精神科は非常に守備範囲の広い診療科です。自分のライフスタイルや興味に合わせて方向性を選択することができます。指導体制の充実には自信があります。精神科医になるなら徳大精神科での研修を！



連絡先 中瀧 理仁 nktk@tokushima-u.ac.jp  
tel.088-633-7130 fax.088-633-7131  
http://tokushima-psychiatry.jp/

## 放射線診断科

(科長 原田 雅史)

放射線診断科では画像診断(CT、MRI、核医学、超音波、消化管透視)、IVR(血管内治療、CTガイド下生検など)を行っています。現代の医療において画像診断は必要不可欠です。全国トップクラスの検査装置、画像診断システムに恵まれた環境のもと、最先端の医療に携わってみませんか。研究においても各々の分野で多くの臨床研究を行っています。また、家庭を持った女性医師でも働きやすい環境作りを努めており、そのような女性医師の入局も歓迎です。



連絡先 原田 雅史 masafumi@tokushima-u.ac.jp  
tel.088-633-7173(内線 9283) fax.088-633-7468  
http://www.tokushima-hosp.jp/info/circulatory.html?rank\_code=unit&belong\_code=25

## リハビリテーション部

(部長 加藤 真介)

リハ科は基盤診療科の中で充足率が最も低い一方、高齢化により必要性はますます高くなっている診療科です。専攻医研修は、徳島県では徳島大学病院プログラムのみですが、リハ専門の徳島病院、回復期リハ病棟や関連施設を持つ一般病院から構成され、総合的に研修できるプログラムです。リハ医学は患者の生活に直結し、ロボットリハなど新たな世界が広がっています。私たちと一緒に新たな地平線を拓きましょう。



連絡先 加藤 真介 skatoh@tokushima-u.ac.jp  
tel.088-633-9313 fax.088-633-7204

## 整形外科

(科長 西良 浩一)

整形外科は骨・筋肉・関節・神経・靭帯など運動器を幅広く扱う診療科です。ひとたび運動器が障害されれば、人間らしい生命活動は満足に行うことができません。すなわち、運動器は人間が人間たる所以を発揮するのに、最も重要な器官ともいえます。整形外科は老若男女、全身(上肢・下肢・体幹)をカバーするため守備範囲が広く、一人前になるのに少々時間はかかりますが、誰でも努力すれば一流になりえるところが魅力です。徳島から世界にはばたく整形外科・骨大工になりませんか。



連絡先 西良 浩一 seikei2@tokushima-u.ac.jp  
tel.088-633-7240 fax.088-633-0178  
http://www.utokushima-orthop.com/

## 脳神経外科

(科長 永廣 信治)

脳神経外科は、common diseaseである脳血管障害、頭部外傷、脊椎脊髄疾患に加え、脳腫瘍、機能的疾患、小児神経疾患など様々な疾患を対象とします。徳島大学病院では脳卒中センターを有しており、将来進む科にかかわらずすべての初期研修医が、脳卒中診察、脳血管外科手術、脳血管内治療について学べるシステムを提供しております。また、ウェブカンファレンスシステムを用いて、関連病院間でのカンファレンスが可能で、専門知識の習得が行えます。後期研修では、脳神経外科疾患全般に対応できる能力を身に着けるだけでなく、興味を持つ専門領域の技術を獲得できるようにバックアップいたします。



連絡先 兼松 康久 kanematsu.yasuhiisa.1@tokushima-u.ac.jp  
tel.088-633-7149(内線 3246) fax.088-632-9464  
http://www.tokushima-nougeka.com/

## 小児科

(科長 香美 祥二)

「子どもの健康を守ることでできる小児科専門医を育成すること、更に小児科サブスペシャリティー(専門分野)を含めた診療能力の養成とキャリア形成」が小児科医局員の目標です。小児救急医療(プライマリケア)、新生児医療から専門性の高い最新の医療まで幅広い知識と診療能力を習得できるよう、新しいことに挑戦し、日々診療に研究に努力しています。我々の未来である子ども達のために、小児医療に興味がある医師の方と共に頑張っていきたいと思っています。小児科への入局を心からお待ちしております。

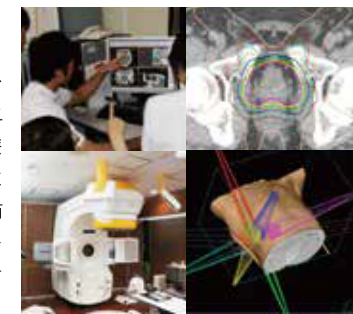


連絡先 漆原 真樹 urushihara@tokushima-u.ac.jp  
tel.088-633-7135 fax.088-631-8697  
http://www.tokudai-pediatrics.net/

## 放射線治療科

(科長 生島 仁史)

徳島大学病院放射線治療科は、3台の高精度外部放射線治療装置(リニアック)と10台の三次元放射線治療計画装置、そして前立腺癌と子宮癌に対する密着小線源治療システムを有し、1年間に700人以上の新規患者を受け入れている国内でも有数の放射線治療施設です。粒子線治療を除くすべての放射線治療の研修が可能であり、多くの診療科と連携し集学的がん治療を実践する中で、最新放射線治療技術を習得したがんプロフェッショナルを育成しています。



連絡先 川中 崇 kawanaka@tokushima-u.ac.jp  
tel.088-633-7173 fax.088-633-7468  
http://www.tokushima-hosp.jp/info/circulatory.html?rank\_code=unit&belong\_code=26

## 病理部

(部長 上原 久典)

病理部は、病理組織診断・細胞診断を行うことにより、院内で実施される医療行為にevidenceを与える仕事を担っています。全国的に病理専門医数は絶対的に不足しています(徳島県では16名)。医療界全体が病理医の育成、獲得に必死になる時代が到来しています。研修にあたっては、各人の事情(婚姻、子供の有無、勤務時間等)を考慮し、弾力的に対応します。病理診断に興味のある研修医を心からお待ちしております。



連絡先 上原 久典 uehara.h@tokushima-u.ac.jp  
tel.088-633-7454 fax.088-633-9565  
http://www.tokushima-hosp.jp/info/circulatory\_center.html?rank\_code=dept&belong\_code=12

## 皮膚科

(科長 久保 宣明)

皮膚科は現在、14人で毎日平均70人の外来患者、14人の入院患者を診ながら、教育、研究を行っています。過去10年間の新入医員は年平均2人です。後期研修の目標は、①実学としての皮膚科学の習熟、②皮膚科専門医取得、③研究です。全て卒業後が勝負で、体力、気力、好奇心をもち、皮疹を通してさまざまな病態を柔軟に考え加療して下さい。また研究にも興味を示してほしいと思います。いずれにせよ、皮膚科を選んだことを後悔することはありません。



連絡先 久保 宣明 kubo@tokushima-u.ac.jp  
松立 吉弘(総務医長) y.matsudate@tokushima-u.ac.jp  
tel.088-633-7154 fax.088-632-0434  
http://www.tokushima-hosp.jp/info/circulatory.html?rank\_code=unit&belong\_code=17

## 麻酔科

(科長 田中 克哉)

初期研修プログラムではどの科に進んでも必要な呼吸循環管理ができることを目標としています。麻酔科では、適切な麻酔をかけるだけでなく、手術や麻酔薬の影響で刻々と変化する全身の病態を早期に評価し、制御しています。気道確保など生命に直結する手技の習得と全身管理の面白さを体験できます。後期研修プログラムでは関連病院も含めてローテーションすることであらゆる症例や状態に対応できる麻酔科医を養成しています。

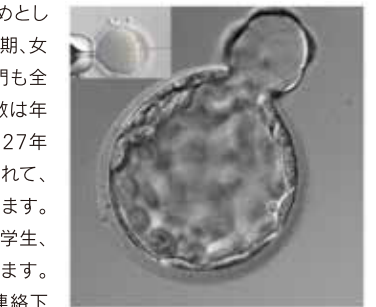


連絡先 田中 克哉 katsuya.tanaka@tokushima-u.ac.jp  
tel.088-633-7181 fax.088-633-7182  
http://tokudaimasu.jp/

## 産科婦人科

(科長 奇原 稔)

現在医局員は、奇原稔教授をはじめとして24名。診療面では生殖、腫瘍、周産期、女性医学の4診療部門があり、どの部門も全国でトップレベルの成績です。分娩数は年間726件、手術件数は613件(平成27年度)。研究面では5つの研究班に分かれて、基礎的および臨床的研究を行っています。4部門すべてが揃う強みを活かして、学生、初期・後期研修医の指導を行っています。産科婦人科に興味のある人は是非連絡下さい。



連絡先 奇原 稔 irahara@tokushima-u.ac.jp  
加藤 剛志 kato@tokushima-u.ac.jp  
tel.088-633-7177 fax.088-631-2630  
http://www.tokudai-sanfujinka.jp/Total/index.html

## 救急集中治療部

(部長 西村 匡司)

重症患者は様々な臓器に問題を抱えており、治療には呼吸や循環、感染症、栄養、腎・血液浄化などに関する幅広い知識・技術と、病態を総合的に評価する力が必要です。救急集中治療部では、呼吸不全、循環不全、重症感染症や小児開心術後など、様々な患者の診療を通してそれらの知識や技術、判断力を身につけることができます。全身管理・重症患者管理に興味がある人は一緒に働きましょう。他科志望の人の研修も歓迎します。



連絡先 大藤 純 joto@tokushima-u.ac.jp  
tel.088-633-9347 fax.088-633-9339  
http://sv01.inter-bus.jp/~toku\_icu/



研修するなら徳島大学病院へ！  
http://www.tokudai-sotsugo.jp